

旅行動態の変化の状況

旅行動態の変化の状況①

団体旅行(パッケージツアー)から
個人旅行(FIT)への移行

個人旅行手配の割合

2012年: **60.8%** 2017年: **75.7%** ⇒ **14.9ポイント増**
(7~9月)

(参考) 中国 28.5% 60.0% ⇒ 31.5ポイント増
香港 70.8% 90.6% ⇒ 19.8ポイント増

スマートフォンを最大限活用した
旅行スタイルへの変化

日本滞在中に役に立った旅行情報源として
スマートフォンと回答した割合(複数回答)

2012年: **23.5%** 2017年: **72.1%** ⇒ **48.6ポイント増**
(7~9月)

都市部から地方部への観光の広がり

地方部における外国人延べ宿泊者数

2012年: **855万人泊** 2016年: **2,753万人泊** 2020年: **7,000万人泊**
(目標)

3.2倍

(参考) 都市部 1,776万人泊 4,186万人泊

2.4倍

リピーター数の増加

リピーター数

2012年: **528万人** 2016年: **1,426万人** 2020年: **2,400万人**
(目標)

2.7倍

地方を訪問する個人客の増加に対応し、地方への誘客をさらに推し進めるため、
旅客サービスの充実、スマートフォンによる情報発信等の施策の充実が必要

旅行動態の変化の状況②

モノ消費からコト消費への移行

娯楽サービス費購入率

2012年：21.5% 2016年：31.6% ⇒ **10.1ポイント増**

外国人観光客の消費支出に占める 娯楽サービス費の割合

2012年：1.1% 2015年：1.9%

〔参考〕諸外国の外国人観光客の消費支出に占める娯楽サービス費の割合
 アメリカ(2012)：10.4% フランス(2013)：7.8%
 カナダ(2014)：10.5%

1人1回当たりの旅行支出

訪日外国人1人1回当たり旅行支出

2012年：13.0万円 2016年：15.6万円 2020年：20.0万円(※)

※2020年4,000万人、旅行消費額8兆円目標の達成のためには、1人1回当たり旅行支出20万円が必要

滞在日数

平均泊数

2012年：12.3泊 2016年：10.1泊

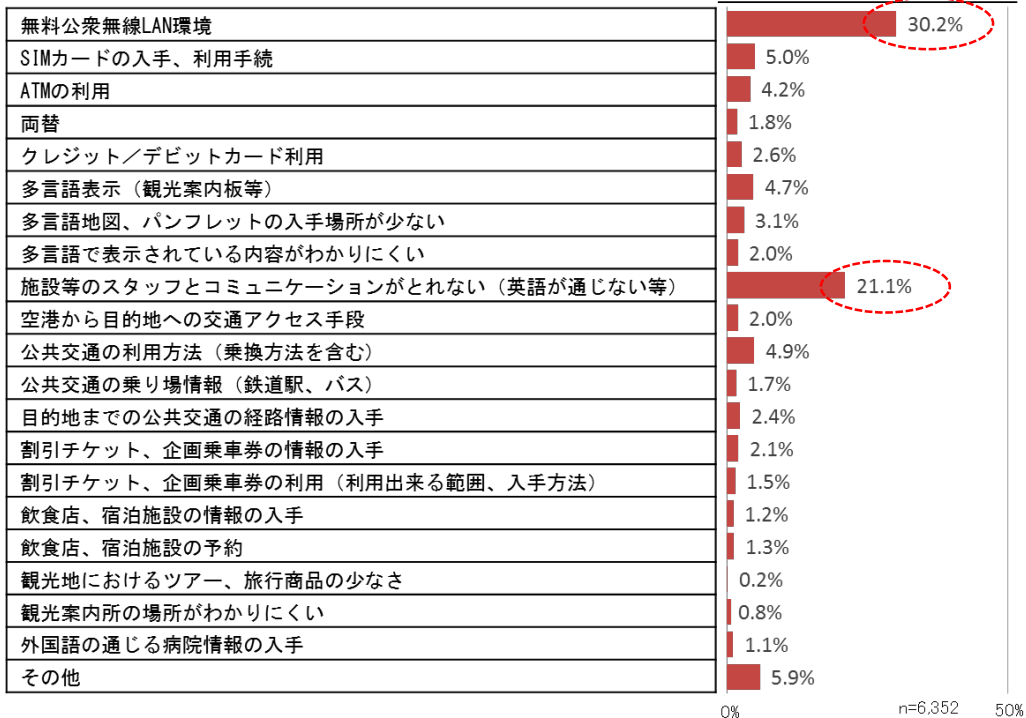
⇒ 「モノ」消費から「コト」消費への移行を踏まえ、国内におけるインバウンド消費をさらに拡大させるため、VR等の最新技術の活用、ナイトタイムエンターテインメントの充実等の施策の充実が必要

旅行動態の変化の状況③

「訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関するアンケート」調査結果

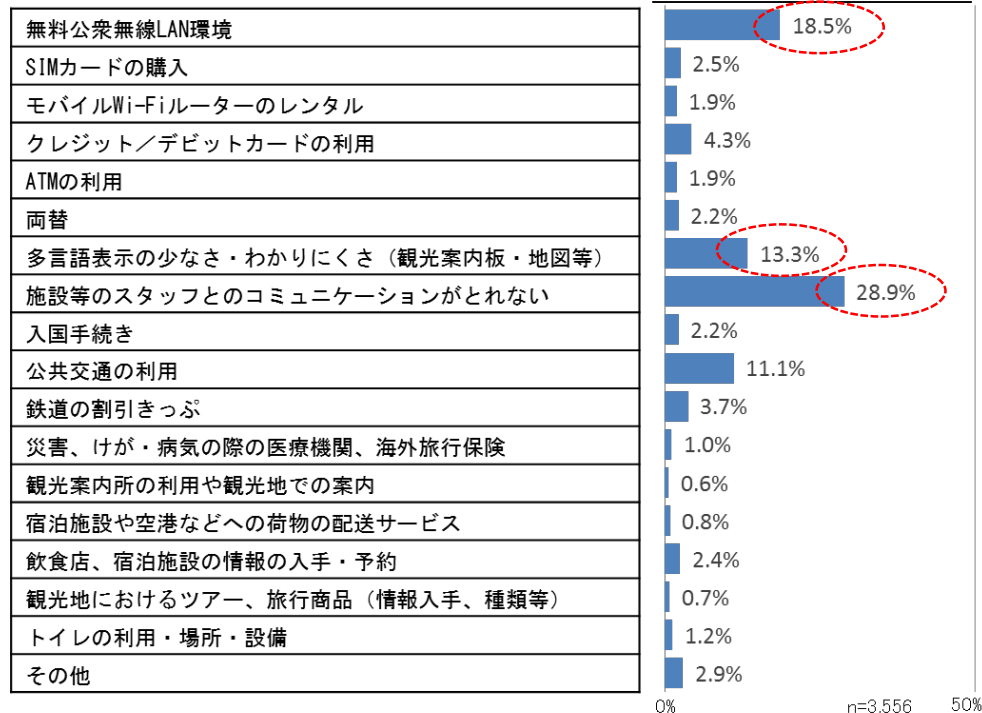
【平成26年度調査】

旅行中最も困ったこと(単回答)



【平成28年度調査】

旅行中最も困ったこと(単回答)



旅行動態の変化に伴い、訪日外国人旅行者が旅行中最も困ったことも変化。コミュニケーションの問題、無料Wi-Fiの整備、外国人に分かりやすい多言語表示等の施策の充実が必要